

小田原支部報

令和7年10月1日発行

報告

弁護士会との合同研修会を開催しました



令和7年9月19日（金）、午後4時30分より、おだわら市民交流センターUM ECO 1, 2, 3に於いて、神奈川県弁護士会県西支部との合同研修会が開催されました。行政書士会は小田原支部から30名のほか、秦野伊勢原支部から5名、平塚支部から2名を招聘、弁護士会は県西支部から21名と、総勢58名が参加、弁護士の東島貴幸氏の司会進行のもと、行政書士からは飲食店営業許可と国際業務、弁護士からは遺言能力と遺留分をテーマに講義が繰り広げられました。

先陣をきったのは、開会の言葉も務めた我々が小田原支部の小関康一支部長。「飲食店にまつわるあれやこれ」と題し、飲食店営業の定義から始まり、令和3年の食品衛生法改正、酒類販売も行う場合の一般酒類小売業との絡み、風俗営業許可における「接待」の定義や判断基準、2025年風営法改正、風営法と深夜酒類提供飲食店営業開始届との関係など、様々な業態とそれに応じた法令の着眼点を抽出して頂きました。

続いて同じく我々が小田原支部の福川将文会員は「国際業務のご紹介 長期滞在する外国人の就労/生活を支援する」と題し、ピンクカード、在留外国人の推移、在留資格の種類、入管手続きの流れの概観、入管審査基準の特徴（「相当性」の詳細）等の解説ほか、国際私法や労働法も射程内にいれておくべきとの提示も頂きました。

つぎに弁護士の町川智康氏からは「遺言能力」をテーマに講義が展開されました。遺言能力と遺言の有効・無効の関係について明確な記述というものがなかなか存在しないところ、遺言能力が争われた裁判例、手掛かりになりそうな条文、学者が述べている事柄を抽出し、遺言能力の核心へアプローチする内容を披露頂きました。我々士業者が遺言作成に関与する際、相続争いを未然に防ぐにあたって、遺言者の遺言能力が無いことが明らかな場合の対処などの指針も示して下さいました。

さいごに、同じく弁護士の加藤 勝氏からは「遺言作成上の注意点～遺留分について～」と題し、遺留分減殺請求が遺留分侵害額請求へと変わり、金銭債権となったがゆえに生じる問題点について、ご自身が直面なさった実例を通じて詳細な解説を頂きました。不動産登記の可否の課題も含めて、我々が遺言書作成に関与するうえで注意すべきポイントを提示して下さいました。

閉会にあたり、神奈川県弁護士会県西支部・白川秀信支部長からご挨拶をいただき、研修会は盛会裏に終了しました。

研修会のあとは、じんりき厨房わびと に於いて懇親会が開かれました。総勢43名の大規模な宴は大盛況のもとに幕を閉じました。

(広報厚生部 石川真彦)



小関 康一支部長



福川 将文会員



町川 智康氏



加藤 勝氏

弁護士会との合同研修会での講義



弁護士会との合同研修会後の懇親会風景

報告

南足柄図書館セミナーを開催しました



令和7年9月21日（日）、午後2時より、南足柄市立図書館に於いて、「大切な家族に向けての思いある終活～これだけは知っておきたい墓じまい～」と題し、古屋憲芳会員より終活をテーマとした講演が行われました。

90分の講演は、紛争予防法務を専門とする行政書士の視点から、主に終活としての墓じまいについて寺院墓地の場合を例示として展開されました。

「祭祀の承継者（墓守）は法律上どなたなのか?」。その根拠法は民法897条であり、①被相続人の指定 ②慣習 ③家庭裁判所といった論点から始まり、遺言書で祭祀承継者を指定する場合の注意点、祭祀承継者の義務、墓じまいに伴う行政手続きなどについて解説が続きました。

墓じまいのほか、改葬、永代供養にも言及がなされ、「ご自身が亡くなった後のお墓をどのようにするか」を着眼点とし、墓地の縁者を思い起こすこと、親族や縁者と話し合うこと、菩提寺（住職）に相談を願い出ること等々、解決に向けた道しるべをも示され、ご来客の皆様、熱心に聞き入っておられる様子でした。

講演会後の個別相談会では、講師の古屋会員、小関支部長、門松副支部長、石川会員が相談員として対応しました。ご参加の先生方お疲れ様でした。

（広報厚生部 石川真彦）

報告

納涼会を開催しました



令和7年8月2日（土）正午より、小田原早川漁村 漁師の浜焼あぶりや に於いて、納涼祭が開催されました。一時は台風直撃が予想されたものの当日は快晴となり一安心。魚介類をご自身で焼いてご自由に召し上がり頂くという初の試みでしたが、猛暑に加えての火あぶりという誤算に主催者はあとから気づきました。「これじゃあ拷問だよ」とは小関典明 元顧問 のお言葉。皆様、暑いながらも美味しいものを存分に召し上がり、夏休みの良い思い出作りになったことにさせて頂きましょう。

（広報厚生部 石川真彦）

お知らせ

行政書士フェスタ小田原2025

とき 令和7年11月2日（日） 午前10時から午後3時まで
ところ ハルネ小田原 うめまる広場（小田原駅前地下街）

〈会員異動状況〉

令和7年7月15日付 入会 武松 行夫 会員 大井町赤田773
令和7年8月15日付 入会 阿部 勇太 会員 開成町吉田島2646番地17
令和7年8月15日付 入会 穂谷野 純 会員 小田原市栢山3283番地の5

《編集後記》

残暑が厳しかった今年ですが、ここにきてようやく秋の気配が感じられるようになりました。本号では神奈川県弁護士会県西支部との合同研修会の様子をご紹介しました。飲食店営業許可、国際業務、遺言・遺留分といったテーマは、行政書士と弁護士それぞれの専門性が交差する分野であり、互いに学び合う貴重な機会となりました。研修後の懇親会では率直な意見交換が行われ、親睦の輪もさらに広がりました（こちら研修に負けない盛り上がりでした）。また、南足柄市立図書館セミナーでは、古屋会員が「終活・墓じまい」をテーマに講演され、行政書士の実務が生活に寄り添うものであることを改めて実感しました。今後も、真面目に学び、時には楽しく語らいながら、地域に根差した専門家集団として歩んでまいりたいと思います。

（発行者名 広報厚生部 石川真彦 日置孝徳 発行責任者 支部長 小関康一）